

【アイデア部門】

価値転換賞 福崎 あみ

香りで記憶を蘇らせる オーダーメイドの調香師

香りはその時の記憶や人、風景などを思い出させてくれる。眼が見えづらからこそ聴覚、嗅覚、味覚、触覚を敏感に感じ取れると考え、その中でも「嗅覚」に着目しました。

外出せずとも四季が関係なくとも、香りを嗅げば海の香りや春の桜の香りなど、その時の記憶や風景、思い出が昨日のここのように蘇るオーダーメイドの香水を作る調香師を考えました。先天盲の方で風景を見たことがなくても、嗅覚で感じ取るだけでなく香水の容器の後ろにはQRコードを読み取れば音声ガイドでの風景の説明や、自然の音や生活音を入れて臨場感を出して工夫します。少しでも香りの再現性を高めて鮮明に記憶が蘇ってくるように、健常者だけでなく視覚障害者も購入者の要望を聞き、その人にとっての思い出がいつでも鮮明に思い出せて幸せを感じてもらいたいと思いました。

健常者とロービジョン者、それぞれの視点から共に1つの香水を創りあげることで、購入者がその時の記憶を昨日のように思い出して幸せな気持ちになれるのではないかと思います。

審査員コメント

健常者とロービジョン者が共に一つの香水を作り上げるプロセスを大切にしたり、購入された方が、その香りで幸せになってほしいという気持ちに配慮されているところが素敵だなと感じました。

YouTubeなどで音楽と風景の映像が流れているものをよく目にします。それに香りが加われば、そこにいるかのような情景が浮かんでくるのではないのでしょうか。

鼻炎などでおおいに鈍感な人も多い現在では、さらに一工夫が必要かもしれませんね。



福崎 あみ

大阪医療福祉専門学校の医療総合学科で2年間、医療事務と医師事務作業補助者の勉強後、視能訓練士学科1年制に入学。

中学生の頃、近視による見えづらさを体験し目の機能の大切さを感じました。

眼に関して専門性の高い職業である視能訓練士を知り、私も目に関する悩みをもつ患者様に寄り添いたいと思い、視能訓練士を志しました。

将来は周囲の医療従事者だけでなく、患者様からも信頼される視能訓練士になりたいです。